

Road to . . .

2026.4.22

— 行ける進路から行きたい進路へ —

◇行ける進路から行きたい進路へ

入学おめでとうございます。

これからの進路は人生を大きく左右する進路選択になります。中学時の高校選択とはその重さは比べ物になりません。この3年間でみなさんが大きく成長し、その先へ自らの意思で羽ばたいてほしいとの思いから「Road to . . . 行ける進路から行きたい進路へ」というタイトルをつけています。清桜高校は一人一人が主役の学校です。この進路だよりを通じて、みなさん一人一人の高校生活がより充実したものになり、みなさんの「行きたい」を叶える応援をしています。

◇進路指導部の先生

今年度進路行事でお世話になる先生を紹介します。学習や進路に関する質問など、担任先生だけでなく進路の先生にも相談してみてください。

1年次	
2年次	
3年次	
年次外	

◇進路ガイダンス

清桜高校での学びをより良いものにするために、進路ガイダンスを行いました。

1年次の進路目標は

☆学力向上☆

各科目の学習方法と平日2時間、休日4時間の学習習慣を定着させ、基礎基本を中心とする学習を目指し、偏差値55以上を目指す。

☆キャリア☆

自分の進路適性を理解するとともに、社会変化に対応できる人材育成のために、社会問題を理解するなど視野を広げる。また、職業観の育成を図る。

です。何事もスタートが肝心です。今ならきっと変わります。成長できます。

成績アップのヒント

- ☆しっかりとした生活習慣
- ☆本気の授業 授業—復習—予習のサイクル
- ☆学校を利用する
- ☆+αの学習
- ☆定期考査・模試の活用

◇1人1台端末の活用

学習支援のために『Classi』を導入しています。授業の復習や予習、英検対策など内容は多岐にわたっていますので、学習教材として活用してください。また、授業においても積極的に活用されています。

※スタディサプリについて、申し込みを希望した生徒は5月1日より使用できます。

(今月中に登録のための案内を出しますので、各自で登録をお願いします。)

◇保護者の方へ

1 「行ける進路から行きたい進路を実現する」

現状では多くの生徒が4年制大学の進学を希望しています。「近いから」などの理由で安易に選択するのではなく、様々な視点から学校選びをさせてください。「大学に進学することが目的」ではなく、「大学は将来のための手段」となるようにしてください。これからの進路は、高校受験とは全く別物です。部活動で言えば、県大会と全国大会くらい、学校によっては郡市大会と全国大会くらい違います。しっかりとした準備なくして、納得のいく人生（進路）はありません。

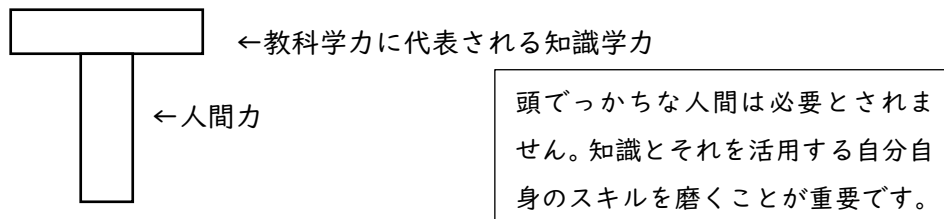
2 部活・学習・学校行事の3刀流

デジタル化・グローバル化が進む社会において「協働的な学び」が求められる時代になっています。知識を身につければいいだけではなく、どう活用するか、自分なりの考えをもち行動するか、多様な意見をどう共有し合意形成を図るかなどが必要になります。部活・学習・学校行事の全てに全力で取り組み、様々な経験をしてほしいと考えています。

3 学習について

基本的な生活習慣の確立なくして学力向上はありません。そして、学習の基本は授業です。

本校は普通科の単位制高校です。工業高校や商業高校であれば、3年間の学びの成果が資格という形になります。普通科高校での学びの形は何でしょうか。しっかりとした学力を身につけ、課題解決能力を身につけることが大切です。資格のような形になるものではありませんが、T字型の学力形成を大切にしています。



4 今年度の主な進路行事

○模試・・・学校の成績には入りませんが、定期テスト以上に重要です。

定期テスト：教科書の内容を確認するもの

模試：教科書と入試、受験を結び付けるもの

（全国での自分の学力レベルを図ることができます）

○課外・・・早期（希望者）、夏季休業（前期：アド全員、普通コース希望者／後期：希望者）、冬季休業（希望者）

授業では扱えない内容や深い学びを実現するために実施しています。

●三者面談

1学期の学校の様子や2年次の科目選択についての面談になります。2年次の選択科目は12月までには決定します。しっかりと将来や受験を見据えた選択をする必要があります。ですから、高校受験が終わったからと言ってのんびりはできません。1学期から（今から）しっかりと自分の進路を考えないと後悔した科目選択になってしまいます。

●保護者進路学習会

ベネッセより講師を招き、近年の入試状況などの講演会を実施します。

○大学見学

日程や行先は未定ですが、大学を中心に見学に行きます。12月を予定しています。

●：保護者の方が参加する行事になります。

3年間よろしくお願ひします。